

福島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語特論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0064			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	SHARPENING YOUR TOEIC L&R TEST SKILLS 朝日出版社、CNN short News for Listening SDGs 朝日出版社						
担当教員	勅使河原 智子,本田 崇洋						
到達目標							
①TOEICの問題構成を知る ②リスニングとリーディングを鍛え、TOEIC400点をゴールとする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる		各授業項目の内容を理解している		TOE各授業項目の内容を理解を理解していない	
評価項目2		TOEICで500点以上		TOEICで400点以上		TOEICで390点以下	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	文法の基礎力を固め、英文を正しく、聞く力・読み取る力を養い、TOEIC対策トレーニングを行う。						
授業の進め方・方法	定期試験は50分間の試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に実施する。 定期試験の成績を60%, 課題40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	継続的な英語学習を心がけること						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Unit 1、GOAL 1		授業の進め方、5文型		
		2週	Unit 1、GOAL 1		時制、S+V+O+C (1)		
		3週	Unit 2、GOAL 2		他動詞・自動詞、S+V+O+C (2)		
		4週	Unit 2、GOAL 2		文型、S+V+O+C (3)		
		5週	Unit 3、GOAL 3		動名詞(1)動名詞(2)		
		6週	Unit 3、GOAL 3		不定詞(1)不定詞(2)		
		7週	Unit 3、GOAL 3		分詞		
		8週	Unit 3、GOAL 3		分詞による名詞の修飾		
	2ndQ	9週	試験返却、Unit 4、GOAL 4、		句動詞・分詞構文		
		10週	Unit 5、GOAL 5		形容詞・前置詞句・不定詞による名詞の修飾		
		11週	Unit 5、GOAL 5		動詞・無生物主語		
		12週	Unit 6、GOAL 6		倒置・疑問文と疑問詞		
		13週	Unit 7、GOAL 7		形容詞・比較(1)(2)(3)		
		14週	Unit 7、GOAL 7		副詞・副詞節(1)(2)		
		15週	試験返却、前期のまとめ		前期の総復習		
		16週					
後期	3rdQ	1週	Unit 8、GOAL 8		代名詞・形式主語・形式目的語		
		2週	Unit 8、GOAL 8		強調構文		
		3週	Unit 9、GOAL 9		前置詞		
		4週	Unit 9、GOAL 9		thatが作る名詞節		
		5週	Unit 10、GOAL 10		関係詞・関係代名詞(1)(2)		
		6週	Unit 10、GOAL 10		関係副詞		
		7週	Unit 11、GOAL 11		接続詞		
		8週	試験返却、Unit 12、GOAL 12、		不定冠詞・so[such]…that～		
	4thQ	9週	Unit 12、GOAL 12、		時制・助動詞		
		10週	Unit 13、GOAL 13、		紛らわしい動詞・仮定法		
		11週	Unit 13、GOAL 13、		紛らわしい動詞・仮定法		
		12週	Unit 14、GOAL 14、		紛らわしい動詞・否定		
		13週	Unit 14、GOAL 14、GOAL 15		復習		
		14週	Unit 15、GOAL 16、Unit 17		復習		
		15週	試験返却 まとめ		後期の復習		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合						
	試験	課題				合計
総合評価割合	60	40	0	0		100
基礎的能力	60	40	0	0		100
専門的能力	0	0	0	0		0
分野横断的能力	0	0	0	0		0